

## 「現代中国論」公開講座

日時： 2010年4月20日（火）2限

場所： 222教室

講師： 北京師範大学 張昭軍教授

タイトル： 現代中国の庶民の経済学

内容概要：

今の中国民衆の生活に焦点を当て、主に民衆の居住、医療、教育および就職、株市場、環境保護、交通状況などの実態を説明し、国の民生政策を紹介し、その問題点をまとめて分析する。

### 現代中国の庶民の経済学 —都市住民の経済の一般状況—

北京師範大学 張昭軍教授

#### 一、庶民の家計簿

経済学は庶民の言葉でいえば、収入と支出である。今の統計でよく言われる「人当たりの支配可能収入」は、次の4部分からなっている。

①給与的な収入（給料など）、②移転的な収入（養老年金）、③経営的な収入（商業売買の収入など）、④財産的な収入である。

中国の都市住民の「人当たりの支配可能収入」は、給料が中心で、70%を占めている。歴史的原因によって、中国人民の財産的な収入が比較的少なかった。しかし、国民経済の急速な発展、投資ルートの開拓、庶民の財産の増加につれて、財産的な収入も近年急速に増えている。

##### 1、給料収入

「ゴマの花は下の方からだんだんと咲いていく」（生活が次第によくなる）

2、株で儲ける 上げ潮のように盛んになっている

3、不動産 住民が家を求めることから、家のレベルを求めることへ転換

4、教育 子女教育への投入が絶えず増長

5、医療 病気治療から保健へ転換

#### 二、問題

中国は発展途上大国、現在、最も大きな問題は社会発展の不均衡。

1、貧富格差が日増しに拡大

2、GDPと国民の収入との比率は均衡を失う

3、都市住民と農村住民の収入は均衡を失う

#### 三、対策

中国政府は2020年前後までに、中間層が多数を占める「オリーブ型」のような社会を次第に形成し、先進国の生活水準の初歩的達成を目指す。

1、分配制度の改革

2、教育の公平化を促進

3、社会保障体系を整えるように整備